

ペット(犬や猫)による事故

事故の概要

【事例①】飼い主が外出中、ガスコンロの周辺が焼損した。

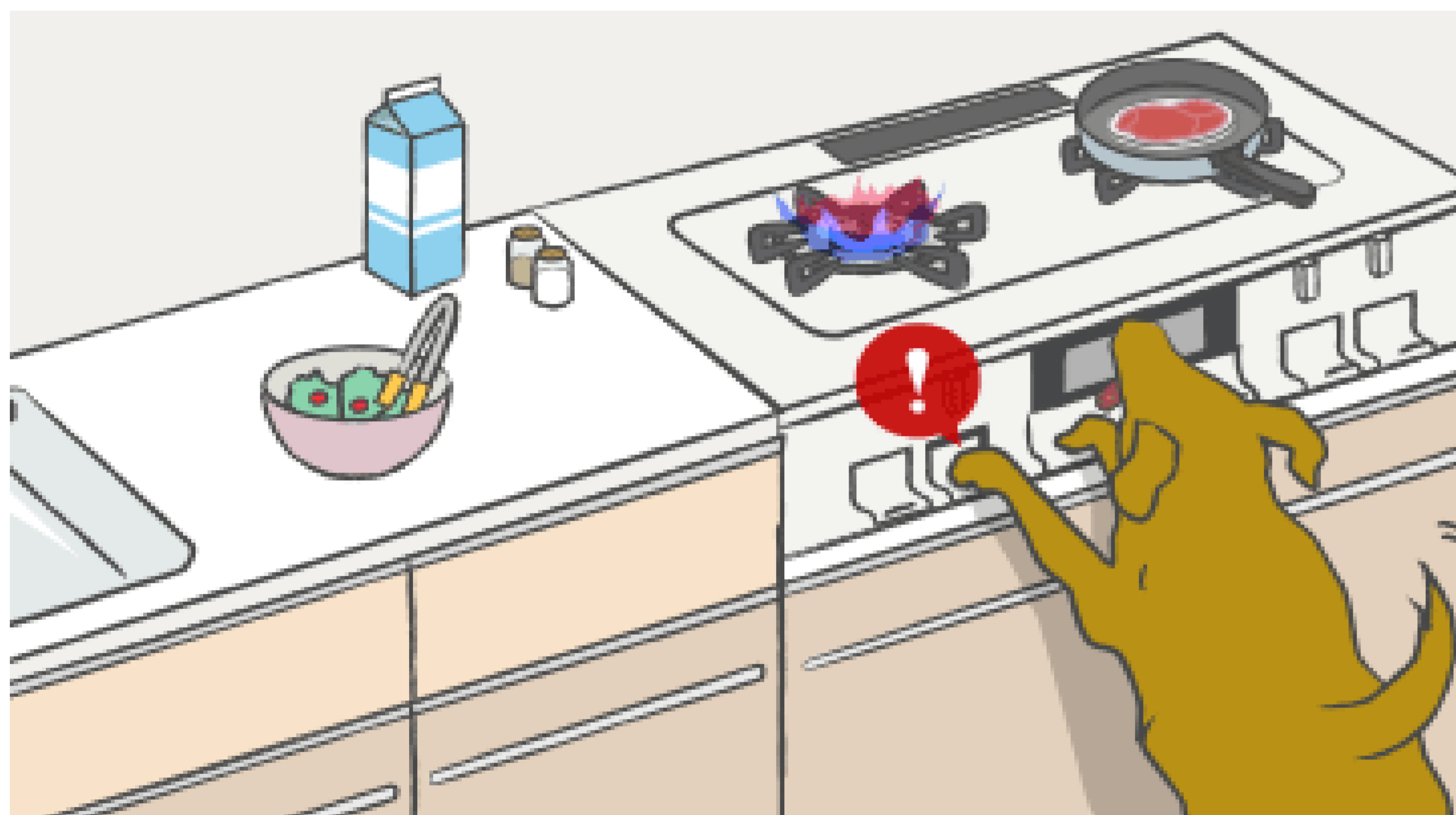
【事例②】飼い主が就寝中、ファクシミリと周辺を焼損する火災が発生した。

【事例③】充電中の携帯電話と、その周辺を焼いた。



事故の原因

【事例①】室内で飼っていた猫が点火ボタンに触れ、ガスコンロを点火した可能性が考えられるものです。



画像提供 株式会社パロマ
「製品に関する大切なお知らせ」より

【事例②】ファクシミリに猫の尿が浸入したため、基板でトラッキングが発生したものです。

【事例③】携帯電話を犬がかんだため、電池パック内部の電極がショートして異常発熱が生じ、破裂して火災に至ったものです。



事故防止のために

- ◆ ペット(犬や猫)がガスコンロやIH調理器に寄りかかったり、上に登るなどしてスイッチを入れてしまうことがあります。ペットを家に残して出掛ける際は、ガスコンロは元栓を閉めるかロックを掛け、電気製品は電源プラグを抜いてください。
- ◆ かじったり、尿を掛けたりなどされないよう、ものを放置せず、ペットが触れない場所に保管しましょう。
- ◆ 飼い主の目が届かない際に発生する事故もあります。出掛ける際は室内で放し飼いせず、ケージに入れておくなども、大切なペットを火災から守るために有効な対策です。

